

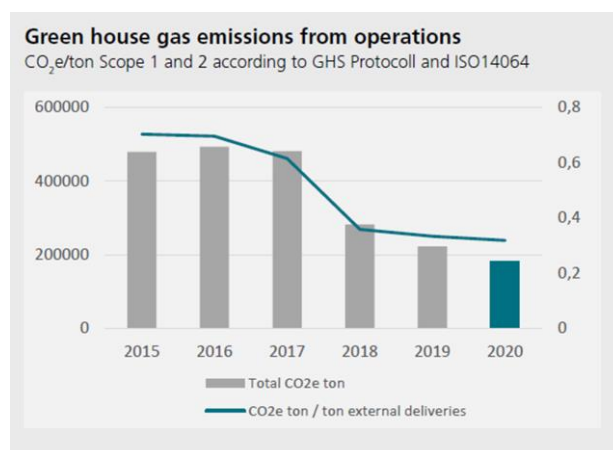
欧州子会社 Ovako が 2022 年カーボンニュートラルに移行

～気候変動問題の早期解決に向けた取り組みを加速～

山陽特殊製鋼株式会社の欧州子会社 Ovako Group AB(以下「Ovako」、本社 スウェーデン王国ストックホルム市)は、気候変動問題の解決を一層加速させるために、自社の製造プロセスにおける CO₂ 排出削減に加えて、開発途上国における温室効果ガス排出削減に貢献するカーボンオフセットプログラムを活用し、2022年1月からカーボンニュートラル(自社の製造プロセスにおける CO₂ 排出の実質ゼロ)に移行することを決定いたしました。

Ovako では、持続可能な鉄鋼生産の実現に向けて、世界でも先進的な取り組みを進めており、2020年の時点において、特殊鋼製造プロセスで排出する CO₂ を 2015 年比で 54%削減しています。(右図参照)

また、Ovako では、“ゼロカーボンスチール”の早期実現に向けて、2020年4月にスウェーデンの Hofors 工場で水素による圧延前鋼材加熱の実証に世界で初めて成功し、2021年6月には、同じ Hofors 工場において脱化石電力を利用した、スウェーデン最大級のカーボンフリー水素生成プラントの建設に着手するなど、さらなる CO₂ 排出削減に向けた取り組みを進めています。



(Ovako SUSTAINABILITY REPORT 2020)

こうしたなか、Ovako は気候変動問題の早期解決に向けた取り組みを一層加速させるために、自社の製造プロセスにおける CO₂ 排出ゼロを達成するまでの間、京都議定書やマラケシュ合意で規定されている、主に開発途上国での温室効果ガス排出削減プロジェクトに投資するクリーン開発メカニズム(CDM: Clean Development Mechanism)に適用されるカーボンクレジットを購入し、自社の残りの CO₂ 排出量(Scope1 および Scope2)を相殺することといたしました。また、気候変動問題への取り組みや新技術への投資を促進するため、鋼材価格への気候サーチャージ制度導入に向けて、顧客との対話を開始しています。

全世界で気候変動問題への対応に関する重要性が急速に高まるなか、当社グループは、Ovako を含めたグローバルな事業活動の全体で、CO₂ 排出削減とカーボンニュートラルに向けた全方位的な取り組みを推進してまいります。

以上